

国立市シルバー人材センターニュース

第185号

いぶし銀



発行：公益社団法人国立市シルバー人材センター・編集：広報委員会
住所：国立市富士見台2-38・TEL：042-577-0919・FAX 042-575-7288
E-mail：kunitachi@sjc.ne.jp・URL：<http://webc.sjc.ne.jp/kunitachi/index>



第74回 クリーン多摩川開会式

秋のイベントシーズン到来！

シルバー人材センターは以下の催しに参加します

クリーン多摩川
国立の集い環境フェスタ
くにたち

【日時】10月21日(土)
10:00～15:00
【場所】谷保第四公園
無料包丁研ぎで
貢献しています。

市民まつり

【日時】11月5日(日)
10:00～16:00
【場所】大学通り緑地帯
手芸品の販売やシルバー
人材センターのPRをおこないます。

【日時】11月19日(日)
開催予定
【場所】多摩川河川敷
グラウンド
※詳細が決まりましたら、
当センターホームページ
にてお知らせいたします。

これからシルバー応援フェスタ

【日時】11月20日(月) 13:30～16:00
【場所】くにたち市民芸術小ホール
【申込】事前予約制、詳細および申し込みは
WEBで<https://korekarasilver2023.com/>
【対象】シルバー人材センター入会前の方
これからシルバー応援フェスタは、
シルバー人材センターに未入会の方を対象としたPRイベントです。

シニアしごとEXPO2023

【日時】10月18日(水)10:30～16:00
【場所】東京たま未来メッセ1階展示室
八王子市明神町3丁目19-2
【申込】事前予約制 詳細および申し込みはWEBで
<https://www.seniorshigotoexpo.metro.tokyo.lg.jp/>

会員手芸品の販売やシルバー人材センターのPRをおこないます。



事故発生時の夜間・休日 緊急コールセンター

04-2929-8282

平日：17時15分～翌8時30分
土日祝：終日

～イチサン運動とは①就業開拓②会員増強③社会奉仕活動～（会員一人が三つの行動）

～みんなが「地域社会のにないて」です～

令和5年7月～9月
理事会 協議報告

【第1回理事会 7月25日】

①入会希望者 男性2名
女性3名

—承認—

【第2回理事会 8月23日】

①入会希望者 男性0名
女性2名

—承認—

【第3回理事会 9月26日】

①入会希望者 男性2名
女性3名

②東京都の最低賃金引き上げに伴う配分金基準の改定

—全て承認—



昨年は事業活動推進委員会から、手芸のお仕事グループ「布布布の会」を立ち上げました。10名ほどのメンバーの仕

令和五年六月に理事を拝命、その後の臨時理事会で副会長を拝命しました。これまで女性の理事は二名でしたが今期より三名になりました。各委員会でも女性の委員が活躍しています。

事業活動推進委員会は社会活動奉仕活動の行事に参加しています。これからも行事への協力や新規事業の開拓にも力を入れていきます。また、これからは他市シルバーセンターと交流を深め、女性会員の獲得、就業募集情報など交流の中で情報の交換をしていきたいと思います。

令和五年六月に理事を拝命、その後の臨時理事会で副会長を拝命しました。これまで女性の理事は二名でしたが今期より三名になりました。各委員会でも女性の委員が活躍しています。

事業活動推進委員会

委員長 森久保 正子

「窓」では、主に役員の紹介やセンターの委員会等の活動報告をはじめ、センター事業の目的や理念をご紹介しています。

窓

フードドライブとは、ご家庭で使いたいきれいな食品（生鮮食品以外）を集め、地域の福祉団体等へ寄付をする活動です。



フードドライブにご協力ください



【食品の条件】
賞味期限が令和6年3月1日（土）以降で、常温保存できる未開封のもの（生鮮食品・瓶詰・包装や外装を他に移し替えているものを除く）



～会員の声募集／次号の締切は11月24日(金)、皆様のご投稿をお待ちしています～

転倒予防講習会報告

安全管理委員会 委員長 佐々木 豊

安全管理委員 林 壽 夫

シルバー人材センター 安全リーダー研修報告

安全パトロールを実施しました

安全管理委員会

7月25日(火)、三多摩労働会館で行われた安全リーダー研修に参加しました。

7月13日(木)くにたち福祉会館にて、東海大学名誉教授川向妙子先生をお迎えして、転倒予防講習会が開催されました。当日の参加者は43名の方でした。林会長の挨拶で始まり、川向先生による転倒予防講習へと進みました。

講話からゲーム形式の実技で約2時間の流れでした。非常にわかりやすいお話を、体を使つたゲーム形式の実技でした。

先生のお話を総合すると、ポイントは高齢により転倒する可能性大。①から③が考えられます。

- ① 体力の低下
- ② 筋肉量の減少
- ③ 骨量の減少

会員の平均年齢も75歳となり、転倒事故は今後も増加することが予想されます。

転倒防止のためにも、年2回実施している講習会に参加していただき、少しでも転倒予防対策をしていただければと思っています。次回、転倒予防講習会の予定は、12月15日(金)です。皆様の参加をお待ちしています。

7月18日(火)、夏の安全パトロールを行いました。

今回は、大学通りの無料駐輪場維持管理と市役所の除草作業の2つの現場に伺いました。

どちらの現場も直射日光が当たる厳しい就業環境ですが、水分をこまめに補給したり、冷感タオルを使用する等、熱中症対策も万全でした。

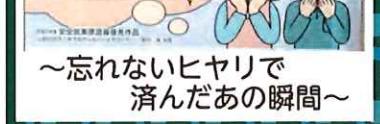
自転車整理班と除草班の皆様、猛暑の中、ご協力ありがとうございました。

事業係長渡辺吉靖さんから、令和4年度の事故発生状況の資料をもとに、事故の概況が報告されました。

令和4年度の事故概況報告がありました。

ついに東京しごと財団シルバー

事業係長渡辺吉靖さんから、令和4年度の事故概況報告がありました。



～忘れないヒヤリで済んだあの瞬間～

安全就業標語を募集します

令和6年度の安全就業の普及啓発活動の一環として、「安全就業標語」を募集します。

応募された作品は当センターより東京しごと財団に推薦し、しごと財団選考委員会において選考が行われます。優秀作品に選ばれると、来年7月の安全就業強化月間にあわせて発表され、啓発用ポスターとなり全東京のセンターに掲示されます。

会員自らが安全就業について考える事により、意識を高める事にもつながります。

多くの会員の皆様の力作をお待ちしています。

◇テーマ

- ① 自転車事故防止について
- ② 転倒予防について

- ◇ 対象 全会員
- ◇ 締切 12月15日(金)
- ◇ 提出先 事務局



「会員の声」ではみなさんから投稿いただいたお仕事や地域班活動などの報告、旅行記、短歌、俳句、写真、絵画等の作品を掲載しています。

陶芸と私

泉1班 島貫 かつよ

私の陶芸の始まりは、郷土文化館で行われた陶芸教室に参加したことです。当時活動していた六グループの代表の方々が講師として教えてくださいました。ネームプレートを作ったのが今でもあります。この作品は上出来で、自分は天才かと喜んだのを今でも思い出されます。

しばらくして、陶芸グループ（煌々☆）の指導の先生より「陶芸やつてみない？」思いもよらないお誘いがあり、煌々☆に入会しました。当時の煌々☆は多人数で活動していました。陶芸をしていてとつても活気のあるグループで、会員みんなのエネルギーが莫大なもので口を開けて獲物を襲つてくる怪獣のように感じました。（こんなはずじゃ作陶出来ません。）

館で行われた陶芸教室に参加したことです。当時活動していた六グループの代表の方々が講師として教えて先輩たちは指導の先生から提示されるお題に添つた作品をどのように表現し作陶しようと試行錯誤しました。

うかと試行錯誤していた時だったと思ひます。入会したばかりの私は、基本の玉作り、紐作り、たたら作りを教えていただきました。そして一番最初のお題は、色々な形のぐい呑みでした。「ようしやろう」と意気込んでいた私でしたが、色々な形のぐい呑みと言われてもなかなか思い浮かびません。とりあえ



今思い起こせば陶芸展を一年後に控えて先輩たちは指

導の先生から提示されるお題に添つた作品をどのように表現し作陶しようと試行錯誤しました。

（最初から上手くできる人なんていないわよ）の先生、先輩の励ましに安堵しました。それからは、焦らず自分のペースで続けていくことを気持ちを切り替えました。

二年が過ぎた頃から、どうにか自分の考えた形に作陶が出来、今度は釉掛け（色付け）です。これまたうまく出来ません、表現力が乏しいせいでしょう。陶芸というものはこんなにも難しこんながら、奥深さにどんどん引き込まれ、魅了されて十



なかつた、私は天才じゃないかと思った自分が恥ずかしくなりました）

（最初から上手くできる人なんていないわよ）の先生、先輩の励ましに安堵しました。それからは、焦らず自分のペースで続けていくことを気持ちを切り替えました。

二年が過ぎた頃から、どうにか自分の考えた形に作陶が出来、今度は釉掛け（色付け）です。これまたうまく出来ません、表現力が乏しいせいでしょう。陶芸というものはこんなにも難しこんながら、奥深さにどんどん引き込まれ、魅了されて十

り、10kgの粘土を持ち運ぶのが大変になりました。これからは大きい作品の作陶が出来なくとも手の平サイズの作品の作陶が出来れば。又色々な作品を見せていただいたりと陶芸に関わつていきました

楽しい毎日

谷保2班 石川 繼博

私は、国立市内に住み六十三年くらいになります。会社員となり朝早く出勤しております。

その後定年となりましたので朝出掛ける事もなく、毎朝何もないつまらない日々を過ごしております。

（朝起きたら行くところがある）と云ううれしさ、充実さが戻り、楽しく仕事をさせて頂いております。

何年前でしたでしょうか、国立市シルバー人材センターにてお仕事がおり、朝早くから出掛ける事が出来るようになりました。

（朝起きたら行くところがある）と云ううれしさ、充実さが戻り、楽しく仕事をさせて頂いております。

長年の習慣とはいえ、楽しい毎日を過ごしております。心より厚くお礼申し上げます。



（最初から上手くできる人なんていないわよ）の先生、先輩の励ましに安堵しました。それからは、焦らず自分のペースで続けていくことを気持ちを切り替えました。

二年が過ぎた頃から、どうにか自分の考えた形に作陶が出来、今度は釉掛け（色付け）です。これまたうまく出来ません、表現力が乏しいせいでしょう。陶芸というものはこんなにも難しこんながら、奥深さにどんどん引き込まれ、魅了されて十



（最初から上手くできる人なんていないわよ）の先生、先輩の励ましに安堵しました。それからは、焦らず自分のペースで続けていくことを気持ちを切り替えました。

二年が過ぎた頃から、どうにか自分の考えた形に作陶が出来、今度は釉掛け（色付け）です。これまたうまく出来ません、表現力が乏しいせいでしょう。陶芸というものはこんなにも難しこんながら、奥深さにどんどん引き込まれ、魅了されて十

り、10kgの粘土を持ち運ぶのが大変になりました。これからは大きい作品の作陶が出来なくとも手の平サイズの作品の作陶が出来れば。又色々な作品を見せていただいたりと陶芸に関わつていきました

あんじやあねえ

富士見台1班 高橋 清男

群馬県の北西部東吾妻町で生まれ、高校卒業までこの地で暮らしておりました。

東吾妻町は、最近完成した八ッ場ダムのすぐ下流から吾妻川流域両側の中之条町につながる地域です。子供思いの両親に育てられ、普通に生きて来たと思います。

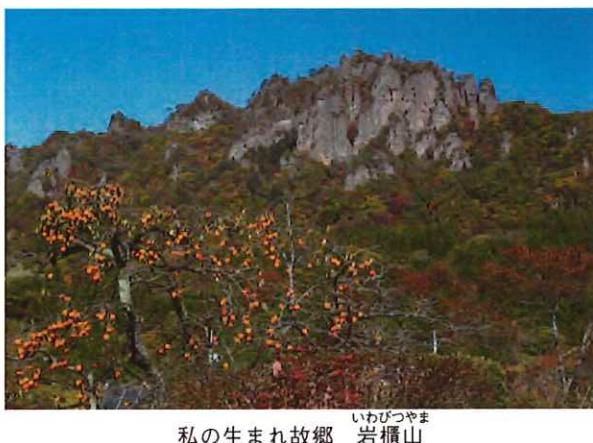
私の親達は、七才の長男を頭に、四年の間に三人全員亡くしました。四才の娘、一才に満たない次男を一年の間に三人全員亡くしました。

三年近く時を置き、子宝に恵まれ、その後は七人の子供が順調に育つて、私は六番目(ろくでなし)に生まれました。

親達は子供は大事に育てたいといふ想いが特に強かつたと思します。

父親は特に何か事があると決まって、「あんじやあねえ」が口をついて出ていました。

「案する事はない」「心配いらないよ」というのが標準語の云い方だと思います。



私の生まれ故郷
いわびつやま 岩櫃山

子供やご近所さんなどに何か事があると、父は「あんじやあねえ」

「あんじやあねえよ」と半分は自身の苦節と思い、半分は人の為にと、

時には優しく、時には厳然と云つていたように思います。

二五年前に息子が独立して事業を始めた時、女房がいつも心配して私に話しかけてきました。

私は半分は自分に言い聞かせるように、半分は相手を安心させるようにならねえよ」と云う事がいっぱいありました。

私は今でもこの言葉を云うと、不思議にほつとして、気持ちの安らぎでした。

私は今でもこの言葉を云うと、不思議にほつとして、気持ちの安らぐ

魔力の言葉と思つております。

「あんじやあねえ」「あんじやあねえよ」二度繰り返していくつてみると…。

※八ッ場ダムは令和二年三月に完成しました。

写真提供:東吾妻町観光協会

盆踊り大会での 地域貢献活動

富士見台2班 中村 成年

8月25・26日の両日に富士見台1

丁目自治会主催の盆踊り大会が、谷保第1公園で開催されました。コロナ禍で様々なイベントが自粛を余儀なくされました。この盆踊り大

会も同様4年振りの開催です。

子供連れのご家族、小中学生のグ

ループ、お年寄りのご夫婦など多く

の方々が集まって来られ、美味しそうに食事したり、盆踊りに参加した

りと皆さん大変楽しそうに時間を

過ごしていました。4年振りといふことで、「やはり夏には盆踊り大會ね。楽しみにしていたのよ。」という声を耳にしました。

我々シルバー人材センター植木班は、25・26日の両日、延べ28名で地

域貢献活動を行いました。活動内容は、事故防止を主な目的に駐輪スペースの整理や通路の確保、公園周辺での監視や声掛けです。

17時半に公園に集合し活動内容・注意事項を確認の上、全員用意され

た黄色のベストを着用しての活動です。合わせて主催者の方が準備してくれださった食事を頂き、水分を補給し熱中症予防にも注意を払いました。

18時頃になると、徐々に地域の

方々が集まり始め、20時前には駐輪スペースが満杯になりました。狭い通路を走り回る子供達が怪我しないよう声掛けをすることもありました。



～就業現場から～

Vol.8

＜シルバーパス発行業務＞

今回は、シルバーパスの発行業務に携わっている、山本美智子さん、濱本ふみ江さんにお話を伺いました。

(取材:村上 周二)

業務の場所と人員

シルバーパス発行業務場所は、福祉会館 1F のロビーで事務机を臨時的において行っています。

現在は就業会員11名(内、女性 6 名)で構成していますが、実務は毎月、月初めの平日 5 日の業務で 2 人／日が配置され、交代で就業しています。(窓口対応は 9:30 ~ 16:30)

お客様は 5 日間の内で初日が多く 20 人以上来られることもありますが、後半になると 0 人となる日もあり、また、天気が悪い日や 9 月の一斉更新時期が近づくと減るので、かなり業務にはばらつきが出ます。

仕事の内容

シルバーパス発行業務は東京都が推進しており、70歳以上のシルバーパスを購入希望される都民のお客様の所得に応じて本人負担 1,000 円または 20,510 円のシルバーパスを発行します。(パスは都内の路線バス、都営の電車・地下鉄を 1 年間利用できるもので初年度は誕生月から 9 月末まで有効で、次年度から毎年 9 月に更新で 1 年間有効となります。)

毎月の新規バス発行業務は次のようになります。

①バス発行業務用の場所を設営する／終了時の片付けをする。(机・立て看板など)



②お客様の申請書記入内容を、持参いただいた昨年度所得額を証明する書類、70歳を過ぎた本人確認証明書類で確認後、該当するバス券の金額を頂き、バス券に名前を記入しあ渡しする。



③お客様に、冊子を渡し、バスの使い方、注意事項の説明をする。

④お客様のバスに対する問い合わせの対応をする。

*コロナ禍前までの 9 月はシルバーパスの更新業務もあり、国立市内の 5 か所、約 4 千数百人の更新対象者を 11 ~ 12 日間で就業会員 11 名に加えて応援人員も増やしていただき作業していたが、コロナ禍の 3 年間は、すべて郵送作業の対応となり更新業務は発生していない。

気を付けてのこと

- ①1,000 円券、20,510 円券の間違いは絶対しない様に。
- ②名前の書き間違いがない様に。
- ③お客様が喜んでお帰りいただける様に心がけています。

うれしかったこと

- ・免許証を返納された方が、足代わりができ、これで気楽に出かけられると喜んでいただけた。
- ・病院に頻繁に通院されている方がこれであまりお金がかからずして済むと喜ばれた。

困ったこと

- ・申請されるお客様が、所得を証明する書類を忘れ、市役所まで取りに行って頂くことがあります。申し訳ない思いをした。
- ・お客様が難しい漢字のお名前で記入できない場合は、ご本人に記入していただきました。
- ・コロナで更新業務が郵送になるなど方式が変わったり、税制が変わったりしたことに加え、コロナ禍の 3 年間に会員が新人に入れ替わり、教育機会が少なく変化が激しいこと。

これから抱負

シルバーパス発行メンバーはこれからも発行業務時にお客様に誠意を込めて対応していくままで、宜しくお願いします。

私は、沖縄県最南端波照間島で生まれ育ちました。高校卒業後、東京に集団就職で沖縄から船にゆられて三日間かかりました。東京晴海港に着いた時は東京タワー、電車を初めて見ました。



波照間島

谷保2班 砂川 貞吉

～日本最南端

波照間島～
はてるましま



東京に行く時はまだ沖縄返還されていませんのでパスポートが必要でした。本土に行くのに外国に行つた気分でした。現在は東京から飛行機で石垣島空港まで三時間三〇分ぐらいです。石垣港から波照間島までは船で二時間です。一日に船は朝昼夕三便出ています。日本最南端で知られている波照間島は、沖縄県八重山郡竹富町に属し、町内では西表島に次いで大きな島です。西方を東シナ海、東方を太平洋が囲み黒潮の大河が北上しています。亜熱帯海洋性気候で、年平均気温24度、年中温暖に恵まれています。島の北東から南東にかけての海岸線はごつごつした岩肌、北側と南側には海岸

東京に行く時はまだ沖縄返還されていませんのでパスポートが必要でした。本土に行くのに外国に行つた気分でした。現在は東京から飛行機で石垣島空港まで三時間三〇分ぐらいです。石垣港から波照間島までは船で二時間です。一日に船は朝昼夕三便出ています。日本最南

は各部落にカツオ工場、製糖工場、売店もありました。島を出ていく若者が多くなり、今は製糖工場一ヵ所です。農業面では、サトウキビ、畜産農家が島の経済を支えています。

波照間島は、観光客が多くなり民宿も多くなりました。旧盆は五つの島には五つの部落、富嘉部落、前



波照間 天文台



日本最南端の碑

部族がまとまって島の大行事です。島民はもちろん島外に住む郷友会員も大勢里帰りします。午前中は仮装行列があり、舞踊、太鼓、獅子舞を披露されます。島を観光するには自転車で一時間三十分くらいかかります。朝日、夕日が美しく、天気が良いときは台湾も見えます。夜は月明かりで島を明るくします。空を見上げると満天の星と南十字星、流れ星もあります。島には星空観測タワーもあります。波照間島は私にとって最高の島です。ぜひ一度は来てください。

(メンソーレ)



同窓会の一コマ 中央が著者の砂川さん

があり、リーフが発達しています。西海岸は白砂の帶が延々と続いています。島の人口は、私が小学校の時は一五〇〇人いました。今は四五〇人くらいです。

島には五つの部落があります。北部部落、南部落、名石部落、前



シルバーはうす 105 通信 VOL.17

会場：シルバーはうす 105
定員：5名（申込順）
費用：1回 2,000円
(現金支払い)
持ち物：スマートフォン、タブレット、パソコン等
(ご自身でお使いのものをお持ちください)
※尚、会場には無料の WiFi がございます
対象：どなたでもご参加いただけます、お友達を連れてのご参加も可能です
申込方法：事務局の窓口または電話で申し込み可能
ぜひご参加お待ちしております!!

皆さんでワイワイガヤガヤしながら、スマートフォンやパソコンを少しずつでも、使えるようになりますか。

「相談会」といっても、スマートフォン、パソコンの使い方が得意ではない方々が、ちょっと顔をのぞかせてお喋りする「サロン」のような集いです。相談員は「パソコン指導」担当のシルバー人材センターの会員です。

みんなで、なんでも相談会 —スマートフォン、タブレット、パソコン等で困っていること解決いたします—

-開催日時- ☆毎月 2 回開催
10月31日(火) 13:00～16:00
11月8日(水) 13:00～16:00
12月13日(水) 13:00～16:00
※1月以降の日程は事務局にお問い合わせください。

--- 相談例 ---

- ・子供や孫と LINE(ライン) やテレビ電話はどうするの？
- ・Amazon(アマゾン)等ネットで買い物するには、どうすればいい？
- ・スマートフォン等で分からぬことがあるけど、何をどう聞いていいか分からない！等



8月に開催した相談会の様子

令和6年
令和5年
配分金支払予定日
1月12日
1月19日
1月15日
(金)(水)

577-0919

◆会場
くにたち福祉会館
3階 小会議室
◆時間
各月、午前10時開始
◆会員登録料
年会費 2千円（10月より千円）
◆印鑑（認め印）
・ゆうちょ銀行の通帳
・本人が確認できる証明
(健康保険証等)
◆当日必要なもの
・年会費 2千円（10月より千円）
・印鑑（認め印）
・ゆうちょ銀行の通帳
・本人が確認できる証明
(健康保険証等)
◆入会手続き後最初の理事会で承認された後、会員となります。
◆インターネットでも入会の申し込みができます。
シルバー人材センター URL、QRコード（1頁に記載）から手続きをしてください。
※ご不明な点は、事務局へお問い合わせください。

新規会員を募集しています

令和5年度の新規会員入会説明会は、毎月第3金曜日に開催いたします。

1月19日(金)
1月15日(金)
1月17日(金)
12月11日(金)
12月15日(金)
12月17日(金)
各月、午前10時開始

会員の在籍状況（9月26日現在）（単位：名）

地域名	在籍数	地域名	在籍数
北1班	41	中1班	47
北2班	21	西1班	55
東1班	27	谷保1班	43
東2班	38	谷保2班	31
富士見台1班	38	泉1班	39
富士見台2班	26	青柳1班	25
富士見台3班	44		
富士見台4班	50	合計	525

～会員の声募集／次号の締切は11月24日(金)、皆様のご投稿をお待ちしています～

編集後記
メジャーリーグの大谷フィーバーで始まり、熱戦、全国高校野球の決勝戦は、仙台育英（宮城）と慶應（神奈川）戦、久しぶりにテレビの前に観戦、シルバー各位は、手に汗を握り、声を枯らした？ことでしょう。慶應高校が107年ぶりに二度目の優勝で全国制覇となり、その影で日本のプロ野球も何となく、お溢れで観戦的になってしまったような夏の中、発行となりました。皆さんの心温まる投稿のおかげで、皆様の投稿、俳句、紙面を彩る写真や絵画、お待ちしております。広報委員 加藤隆